

研究課題名	同種造血幹細胞移植研究における検体の保存と研究利用(OCU15-1)
研究の意義・目的	本研究では造血幹細胞移植を受けられた方の末梢血検体を保存し、将来の研究に利用することを目的としております。造血幹細胞移植治療成績を改善し、発展させていくためには、移植成績を把握し、公表していくことが必要不可欠であり、当科では定期的に移植成績を検討しております。一方、臨床検査学の発展により、当時はできなかった検査が現在は可能で、血液検査を追加することで有益な情報が判明することがあります。このため、移植を受けられた方の血液を定期的に保存しておき、将来の研究に使用することは、今後の移植成績の改善のために非常に意義があると考えられます。
研究を行う期間	承認後 ～ 2030 年 5 月
研究協力をお願いしたい方 (対象者)	本研究は 2012 年 11 月以降で本研究承認(2015 年 6 月)前に当科で造血幹細胞移植を行われ、血液検体保存の同意をいただいた方と本研究承認後に本研究の同意書で同意をいただいた方が対象になります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせて いただく試料・情報等の項目	既に本研究承認前に検体保存の同意を別途頂いた方については、新たな採血は行いません。承認後は本研究の同意をいただいたうえで、移植直前、移植後 1、3、5、7、14、28、60±7、90±7、180±14、365±1 ヶ月日目(採血管 2 本分計 15ml から得た血清・血漿)計 11 回分を採取して凍結保存します。 同意を頂いた時点では具体的な利用目的は決まっていますが、検査項目が確定した際には、当教室ホームページにて対象者と検査項目を公開する予定です。 また、本研究で得られた検体は将来、当施設以外の研究機関に送付して検査する可能性があります。その際は、改めてその研究計画を倫理委員会に諮り承認を得たうえで、研究固有の番号などをつけて外部には容易に個人を特定できないようにします。
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科 血液腫瘍制御学のみで行います。 【研究責任者】 中前 博久
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された試料や情報は、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の 利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 血液腫瘍制御学

	<p>担当者氏名：中前 博久 電話番号：(06) 6645-3881 メールアドレス：hirohisa@omu.ac.jp</p>
--	---